



泣いても笑っても めでたしめでたし

story

絵本の里がつなぐのは、  
心やさしい人びとの無償の愛。  
大地に染みわたる親子の絆。

宮城県・松島に住む大道芸人の銀三郎(56)は、気ままな独り身で芸人仲間から愛されるお調子者だ。決まり事といえば、北海道で幼なじみが営む農場を手伝うことのみ。会社員だったときに別れた妻と娘にもそれっきり会っていない。そんなある年、農場に行くとき都会から農業研修で来ていた女子高生たちと一緒にいる。いがみ合いながらも距離を縮める銀三郎と女子高生たちだったが、ただひとりの少女だけは心を開かない。やがて農業研修は終わりに近づき、彼女はそっと打ち明けるのだった…。

Introduction

ひとりの俳優が絵本の里で見た子どもたちの明るい未来を映画に託し、すべての親と子に贈る。

すべては2007年、俳優の大地康雄が訪れた北海道の小さな町・剣淵町から始まった。そこでは、約20年前から、絵本を真ん中に、人と人の心が通う「絵本の里づくり」を掲げ、町民は仕事の合間をぬって子どもたちに絵本を読み聞かせ、豊かな心を育てていた。その想いは町のすみずみまで届き、人々が助けあうまでに成長。大地が見たのは絵本に目を輝かせる子どもたちであり、親と子の明るい未来だった。そして、ひとりの俳優は「絵本の力」と「親子の絆」を描いた映画づくりを始める。その想いに共感する人々が集まって誕生したこの映画から、あたたかな感動とやさしい気持ちりが「じんじん」と広がっていく。

www.jinjin-movie.com



『じんじん』製作委員会 / プリズム / バイブライン / オーシャン / トド / ブレス / フェザンレーブ / コナモト / カナモトキャピタル / シネマとろくろ / 北日本ジャーナリー / エム / 札幌映画サークル / 岩本建設 / 東日本放送 / 丸二赤丸水産 / グループ未来 / プロス / 丸山パニー / ロボット / 朝日映画センター / 群馬共同映画 / 九州共同映画 / 映画『じんじん』監製総務委員会 / 熊本映画センター / シネマ・キャラバン / A.O. / ワンドリームピクチャーズ / ビー玉 / ©2018『じんじん』製作委員会 / 2018年 / 日本 / カラー / ビデオ / ステレオ / 118分

山田町民芸術祭共催事業 映画「じんじん」山田町支援上映会

平成26年

10月13日 山田町中央公民館大ホール

開場9:00 / 上映9:30~11:40

※駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

入場料 無料(入場整理券が必要です)

整理券配布場所

山田町中央公民館、役場豊間根支所、役場船越支所

主催 / 山田町教育委員会  
共催 / 映画「じんじん」岩手県上映を成功させる会  
協賛 / パルコホーム、岩手日報アド・ブランチ  
お問い合わせ / 山田町教育委員会生涯学習課 ☎0193-82-3111(代表)

劇中に登場する絵本発売中!



一般書店にて販売

ドリアン助川：作  
あべ弘士：絵

定価(税込) 1,296円